

【大槌商工会】令和4年度経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》 A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	R4年度		実績	評価	次年度へ向けて
		目標	実績			
1. 地域の経済動向調査に関する事	①地域経済動向調査分析	1	1	年度末に公表	A	
	②景気動向分析	4	13	小規模企業景気動向調査4回新型コロナウイルス感染症の影響調査9回実施。分析未実施	B	
2. 需要動向調査に関する事	①高齢者ニーズ調査の実施	1	0	未実施。	D	
	②インターネット市場調査の実施	2	4	磯ラーメンの認知度調査を提供している4者に対し実施。結果をHPにて公表	A	
3. 経営状況の分析に関する事	①分析事業者数	40	26	計画策定や補助金申請を支援した事業者は26者以上あるものの、財務諸表未徴収のため実績値に含めないものあり	C	計画策定時とフォローアップの際は、財務諸表の提出を依頼する。
4. 事業計画策定支援に関する事	①DX推進個別相談会の開催	1	8	集団講習会1回、個別指導7回	A	
	②事業計画策定個別相談会の開催	1	26	専門家による個別指導26回	A	
	③事業承継セミナーの開催	1	0	未実施。	D	
	④創業・後継者育成塾の開催	1	0	未実施。	D	実施について検討中
	事業計画策定事業者数	12	26	計画策定支援1者、補助金申請25者	A	
	創業計画・事業承継計画策定件数	4	3	飲食業3者の創業計画支援	B	
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	①フォローアップ対象事業者数	16	24	補助金採択事業者24者に対して実施	A	
	②頻度（回）	80	86	特に事業再構築補助金採択事業者に対して実施	A	
	③売上増加事業者数	8	9	内部資料による集計	A	
	③経常利益0.5%以上増加事業者数	5	5	内部資料による集計	A	
6. 新たな需要に寄与する事業に関する事	①外部専門家による商品開発個別相談会の開催	1	5	専門家による個別指導5回	A	
	②マッチングイベントの開催	1	0	未実施。	D	
	③テストマーケティングの実施	1	0	未実施。	D	
	④商談成約事業者数	1	0	実績なし	D	
	⑤SNS活用事業者増加数	5	6	大槌商工会青年部インスタアカウントフォロワー者を基に集計。	A	
	⑥SNS活用事業者の売上増加率（%）	2	43.2	内部資料を基に計算	A	

評価検討会議コメント
・ コロナ禍等の厳しい事業環境であるので、経営発達だけではなく、経営改善にも注力してほしい。
・ 商・サービス業に対する町内需要開拓の支援を行ってほしい。
・ 異業種連携を行う仕組みの構築は必要性を感じるため実施していただきたい。
・ 飲食業同士のようなグループで活動していくことに支援を行ってほしい。
・ 町外需要の取り込みは、町、商工会、事業者などが一丸となって取り組むことが必要。
・ 例えば、沿岸地域には少ない大型温浴施設「ますと乃湯」と連携した取組を検討してはどうか。
・ SNSを活用していくような情報発信は積極的に行ってほしい
・ SNSに限定しないで、キュレーションサイトを作る、メディアを活用するといった広い視野が必要
・ 異業種連携を行う際に課題となるのは事業者が何をやっているかわからないことなので商品やサービスがリアルにわかる展示場所があるとよい。